

竹刀検量について（重要）

竹刀検量をお知らせしているとおり、「08 剣道競技竹刀検査・検量申請書[Word]【検量時提出】」にて行います。これに伴い、選手と竹刀の紐づけが必要となりますので、竹刀に学校名、選手名が分かるように記載をお願いします。なお、検量の結果、不合格となった竹刀は、当該選手の全ての試合が終了するまで大会本部で預かります。

個人の部の選手の入場と面の着脱について（お願い）

個人の部に出場する選手は、前の試合の開始までに、試合場の控え席に入場し、面の着脱は控え席で行うようにお願いします。

大会2日目男女団体の部の試合順序について

大会運営の進行を円滑に行い、閉会式終了時刻を早めるために、大会2日目の団体の部について、次のように試合を行います。ご協力をお願い致します。

1. 女子団体の部予選リーグ
2. 女子団体の部予選リーグ終了後（終了した試合場）から、男子団体の部予選リーグ
3. 男子団体の部予選リーグ終了（各リーグ順位確定）後、
第一試合場で男子団体の部決勝トーナメント 2 試合
第二試合場で女子団体の部決勝リーグ 3 試合

ただし、男子団体予選リーグにおいて、一方の試合場の試合が長引いている場合は、空いた会場で女子決勝リーグを行う場合がある。

4. 男子団体の部決勝（第一試合場）

お願い 試合が厳粛かつ円滑に行えるように、以下の（連続しない）試合は、前の試合終了後、間を置かず（選手控え席において前試合の選手との交代をせず）に直ちに整列をして下さい。（別紙参照）

○男子団体の部予選リーグの全ての試合

○女子団体の部予選リーグ

第二試合場 2 試合目 (5 香川・高松 — 6 米子)

第一試合場 3 試合目 (7 富山・射水 — 9 仙台・名取)

第一試合場 4 試合目 (1 鈴鹿 — 2 有明)

第一試合場 5 試合目 (7 富山・射水 — 8 旭川)

以上

(別紙)

試合が厳粛かつ円滑に行われるための団体の部のチームの入退場（整列）について（お願い）

○連続して試合を行わない試合の試合場のチームの入退場について（女子の場合は3人制）

① 前の試合が終了し、相互の礼が終わり、下がり始めた時、次の試合の選手（チーム）は、選手控え席での交代は行わなわなないで試合場に入場する。これにより、対戦校は同時に移動開始し、試合場に入場、整列、相互の礼を行うことができる。控え席の交代は、試合開始後に行う。

その時に、（特に第一試合場赤のチームと第二試合場白のチーム）は、次の審判の入場と交差することがあるため、審判が入場を開始する前に躊躇することなく移動を開始する。躊躇すると、前の試合の審判も戻ってくるため、入場が遅れる場合があります。

② 前の試合の選手と次の試合の選手が試合場前で交代し、前の試合の選手は退場、その後、審判が試合場の入ったことを確認して、次の試合の選手（チーム）は、相互の礼の位置まで入場し整列を行う。審判が試合場に入る前に②の位置で待機できるようにする。

